

## 第5回ビブリオバトル決勝戦

9月28日、2回にわたる予選を勝ち抜いた各クラスの代表者による決勝戦が記念ホールで行われました。ビブリオバトルとは、それぞれが選んだ本の面白さを発表し合い、一番読みたくなった本を決めるというものです。知的書評合戦とも称され、毎年白熱した戦いが繰り広げられています。

図書委員はこの日のために、昼休みや放課後も使って準備をしてきました。当日の司会も、図書委員の2年生2人が務めてくれました。



1年生は初めてのビブリオバトルです。  
真剣な顔、わくわくした顔……、みんな良い表情です。

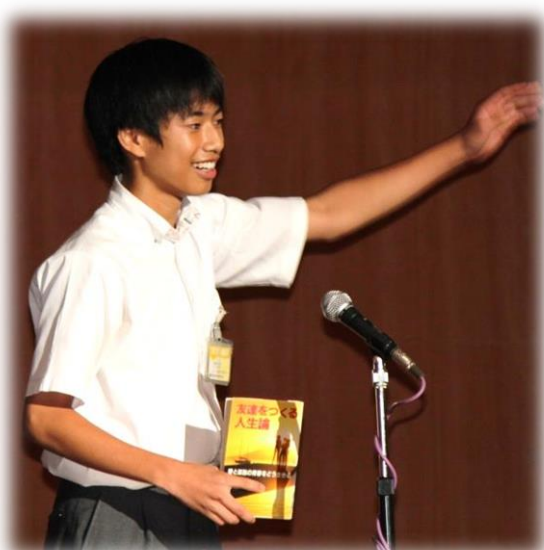
各クラスの代表者6名です。選を勝ち抜いた代表とはいえ、さすがに発表前は緊張している様子でした。



開会式が終わるとさっそく発表です。ビブリオバトルを行うのも今回で5回目となり、発表のレベルも非常に高いものばかりです。



発表は1人5分です。  
それぞれが工夫を凝らし、  
時間をうまく使いながら  
本を紹介していきます。



聞いている一人一人が投票者となります。みなさん、真剣な表情です。



発表が終わった後は、1人2分間の質問タイムがあります。「どうしてその本を読もうと思ったのですか。」  
「印象的な場面はどこですか。」など、発表者に聞いてみたいことを質問します。この時間もビブリオバトルの醍醐味の一つです。



後半は図書委員長と副委員長による発表から始まりました。宮崎学園の図書館における貸出状況を調査し、中学生の読書に関する現状とこれからについて分かりやすく発表してくれました。漫画原作の本や中学生向けの本の貸し出しが多いため、高校生向けの本にも挑戦していくことを提案してくれました。



では、具体的にどのような本を読めばいいのでしょうか。その悩みに応えるため、6人のみなさんがおすすめ本の紹介を行ってくれました。緊張していたはずですが、代表として見事に発表してくれました。



また、先生方にも中学生におすすめの本を選んでいただき、コメントと共に図書委員で紹介をしました。



最後に谷口副校長先生に講評をいただきました。

図書委員会が中心になって進めてくれた今回のビブリオバトル。発表する人も、それを聞く人も真剣に取り組んでくれ、大変有意義な時間となりました。

「読みたい本がたくさんできました！」

「発表者の読みたいと思わせる工夫がすごかったです。」

「来年こそは決勝にでます！」

それぞれの思いを胸に、ビブリオバトルを終えました。ぜひ今後の読書活動にいかしていきましょう。